

地震に備えて家具を固定しよう

近年発生した大きな地震でけがをした原因を調べると、約3～5割が家具類の転倒・落下によるものでした。

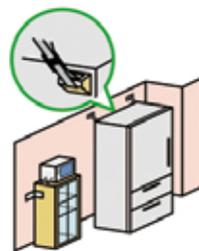
平成19年の新潟県中越沖地震発生直後に柏崎市民に実施したアンケート調査では、建物被害に「なし」と回答のあった世帯でも、94%の世帯で家具類の転倒・落下が発生していました。特に、食器棚やタンス、本棚といった背の高い家具や、テレビ、電子レンジなどの台の上に置かれた家電製品が多く転倒・落下しています。

けがの防止や逃げ道の確保のために、家具類の転倒・落下防止対策をしておきましょう。

◆家具の転倒・落下防止にはこんなメリットが！

小さな子どもがいる家庭であれば、家具の転倒・落下防止対策は、そのまま事故防止対策にもつながります。「引き出しを強く開けた」「引き出しに乗った、ぶら下がった」などで転んでけがをするなどの日常生活での事故も防ぐことができます。家具の転倒・落下対策の各種器具はホームセンターなどで取り扱っています。

この機会に、購入を検討してみてもはいかがでしょうか。



我が家の安全をチェック

- | | |
|--|--------|
| <input type="checkbox"/> L型金具やつっぱり棒などで、家具を固定している | YES・NO |
| <input type="checkbox"/> 寝室やリビングなど長時間過ごす場所の家具は転倒防止対策をしている | YES・NO |
| <input type="checkbox"/> 家具や冷蔵庫の上に落ちやすいものを置いていない | YES・NO |
| <input type="checkbox"/> 重いものはできるだけ家具の下の方に収納している | YES・NO |
| <input type="checkbox"/> ガラスには飛散防止フィルムを貼ってある | YES・NO |
| <input type="checkbox"/> 収納物が飛び出さないように、観音扉には開放防止器具を取り付けている | YES・NO |
| <input type="checkbox"/> テレビ台やピアノなど、キャスター付きのものは動かないようにしている | YES・NO |

住宅用火災警報器の設置義務まで

あと2カ月

松前町では、平成23年6月1日から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が必要です。

住宅用火災警報器に関するお問い合わせは、松前消防署（☎984-3404）へ。